

ハッピー&スマイル
オリオンの輝き

発行者
社会福祉法人楽寿会
特別養護老人ホーム
楽寿荘
四倉町上仁井田字横川67
TEL(0246)32-6381

ハンドブレイク!!

大至 来荘



活躍しておられる「大至」さんが、岬花江さんと共に来荘されました。
岬花江さんの素晴らしい歌に酔いしれた後、大至さんの楽しいお話に利用者や職員にも笑顔がみられ、ご披露いただいた甚句のその声量のある声には「感動した」と話される利用者が多く見られました。
また身振りや呼吸法もまじえた運動も行い、利用者や職員も一緒になって元気良く腕や手や口を動かしました。
その後も岬花江さんとマイク1本でのデュエット、歌詞カードを使っての利用者との熱唱、と楽しい時間はあっという間に過ぎ去り、最後には退出される利用者一人ひとりと握手をして頂き、とても良い笑顔がみられました。
また「大至」さんより楽寿荘に多数のCDのご寄付もいただきました。
大至さん岬花江さんボランティアスタッフの皆様、楽しい時間をありがとうございました。

木々の梢も色づいてきた平成二十三年十月二十四日(月)楽寿荘に、(有)吉辰工業吉田さんのご好意により元関取で現役甚句力士の第一人者として



主任から一言
《北棟介護主任 山崎光美》

北棟では九名の職員が利用者の皆さんが安心して快適な毎日を送れるよう手伝いをさせて頂いています。
職員一人ひとりが、『笑顔で元氣よく』をモットーに時には冗談を交えながら、皆さんの声に耳を傾け、細やかな対応を心がけています。
また、交流の場となっている食堂のテーブルには一年を通して季節の花を飾り、四季を感じ楽しんでもらえるような工夫もしています。
これからも利用者の皆さんの心に寄り添い温かな優しい雰囲気包まれた北棟を目指し頑張ります。



支援物資 頂きました(*^^)

震災直後から、全国の方々から数多くの支援物資をいただきました。現在は、利用者を元気にするアイテムが届いております。12月は、兵庫県のライオンズクラブ様よりクリスマスツリーをいただきました。
この場を借りて全国の皆様に感謝の気持ちを伝えたいと思います。ありがとうございます。



除染進んでいます

東日本大震災、福島第一原発事故から9か月。楽寿荘でもポイントを決め、定期的放射線量を測定しながら、職員の除染隊長を中心に高圧洗浄機を使用して除染をしております。地震で被害のあった箇所も徐々に工事が入り、1日も早く、元の楽寿荘に戻れるよう努力しております。

不在者投票をおこないました
11月15日(火)震災で延び延びになっていた福島県議会議員一般選挙の不在者投票をおこないました。
27名の方が清き一票を投じました。
鼻歌交じりで記載台にむかう方、選挙公報とにらめっこして投票にのぞんだ方、貴重な一票の前に考え込む方がみられました。
利用者の皆さんの想いが、当選した方々に伝わりますように・・・



のど自慢大会

10月5日(水)楽寿荘恒例ののど自慢大会が、盛大に開催されました。
今年はりハビリの小野氏が特別審査員として参加。そして30名強の利用者が、普段から得意としている楽曲で、自慢の喉を披露して下さいました。
懐メロや流行歌と様々なジャンルの歌が登場し、会場は大変盛り上がりしました。また、聴いているだけでは物足りず、飛び入りする利用者もいる中、各棟の応援合戦も賑やかに行われ、楽しい時間を過ごすことができました。

夏まつり

ひとしお
一瞬の夏 思いは一入! 8.27

8月27日(土)、今年も楽寿荘恒例の夏祭りが開催されました。震災後だからこそ是非にと、復興の願いを込めての開催となりました。
午前中はあいにくの雨でしたが、願いが通じたのか、午後には水たまりもなくなるほどの快晴に恵まれました。
地震、津波、原発の被害に遭われた方もいる中、本年も総勢8団体の方々の御協力により、楽しい歌や踊りを披露していただきました。利用者、御家族、職員も楽しい時間を過ごし、最後は「みんなの盆踊り」で幕を閉じました。
地域の皆さん、各協力団体の皆さん、御家族の皆さんのおかげで笑顔いっぱい夏まつりにする事ができました。今年により一層感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



秋の青空昼食会

“天高く馬肥ゆる秋”そんな晴天の下、9月15日、秋の青空昼食会が開催されました。31名のご家族の参加を頂き、利用者と一緒に、楽しい時を過ごされました。
いい天気とは言え、“暑い”1日でしたので、木陰を求めてテーブルを移動する場面もありましたが、食欲をそそる彩りの、美味しい手作りの青空弁当は、そんな暑さも忘れさせてくれました。
まだまだ、復興さえまならぬ状況の中、仮設住宅から駆けつけられたご家族もあり、家族の強い絆を感じた昼食会でありました。

